

平成 23 年度事業報告

当財団は、公益法人改革関連 3 法の施行に対応するため、事業の見直しや振興事業の充実を図りながら、地場産業振興の拠点施設としての役割、機能を十分に果たすべく、国・県及び関係市町村、並びに関係諸団体との連携に努め、以下の事業を実施した。

本年度は、高岡市内の小・中学校の児童、生徒の「ものづくり・デザイン科」の実習及び見学に 1,916 名がセンターを訪れたほか、一般の方による体験学習などにも 358 名が参加した。

販売促進事業として、歳暮・新春・贈答品・年度替わり期の記念品等に対応できるよう、複数の地場産品を組み合わせたセット商品の企画販売を行い新たなニーズの販路開拓に取り組んだ。

新規事業として、実際の文化財修理を通して高岡地域の伝統的工芸技術の職人技を継承するため、「文化財等修理機能充実事業」に取り組み、高岡地域文化財等修理協会を中心とした伝統的工芸技術者の文化財修理の技の記録画像や作業工程・計測等のデータ集積を行った。

また、事業活動収支については、事業収入では参加料等収入が 2,445 千円（対前年 345 千円）で 16.4%の増加、施設使用料収入は 17,649 千円（対前年 353 千円）で 2.0%の増加となった。

一方、販売事業収入においては、展示即売売上では 33,927 千円（対前年△13,125 千円、27.9%減）となり、仕入額が 24,240 千円（対前年△10,770 千円、30.8%減）であったことから、販売手数料は 9,687 千円（対前年△2,355 千円）で 19.6%の減少となった。また、D.front 手数料は 801 千円（対前年△341 千円減）であった。

平成 23 年度における事業活動収入計は 140,104 千円、事業活動支出計が 126,001 千円で収支差額は 14,103 千円となった。また、投資活動においては、投資活動支出計は 7,514 千円で収支差額は△7,514 千円となった。投資活動支出の主なものは、駐車場の改修、公益法人化に向けての会計ソフト等に伴う特定資産取得支出であった。さらに、財務活動収入計は 5,000 千円、財務活動支出計が 10,701 千円で収支差額は△5,701 千円となった。財務活動収入の内容は短期借入金収入であり、財務活動支出の内容は従前の長期借入金の返済及び短期借入金の返済であった。以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は 888 千円となり、前期繰越収支差額 1,136 千円を加えた次期繰越収支差額は 2,024 千円となった。

1. 一般振興事業

(1) 需要開拓事業の推進

① 各種見本市での新商品展示・紹介(ギフト・ショーへの出展)

第73回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2012へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めた。また、伝統的工芸品の技術を活かした新商品やリニューアル商品を揃えた提案型の展示空間をプロデュースすることで商品の訴求に努めた。

- ・日 時 平成24年2月8日(水)～10日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明3丁目21番地1号)
- ・出展数 29社、661点
- ・来場者数 全体で19.6万人(当財団のブースへの来場者数約5,000人)

② 伝統的工芸品販路開拓支援事業 (ふるさと雇用再生特別基金事業)

官公庁、学校、企業等への訪問によるPR活動や出向宣伝事業等へ参画した。

ア 訪問件数 97件

イ 「2011 伝統工芸ふれあい展・富山」への参画

- ・日 時 平成23年11月18日(金)～20日(日)
- ・場 所 ファボーレ1階(富山市)

ウ 「伝統的工芸品展WAZA 2012」への参画

- ・日 時 平成24年2月23日(木)～28日(火)
- ・場 所 東武百貨店池袋店8階(東京都豊島区)

他、出向宣伝事業等への参画 2件

③ 全国の地場産業振興センターが開催するイベントへの出展等

全国各地の地場産業振興センターが主催する地場産フェアに出展し、当地域の地場製品のPRに努めた。

ア 「大産業祭」(委託販売)

- ・日 時 平成23年10月22日(土)～23日(日)
- ・主催、場所 (財)堺市産業振興センター

イ 「全国うまいもの市」(委託販売)

- ・日 時 平成23年11月12日(土)～13日(日)
- ・主催、場所 (財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター

ウ「じばさんフェア 2011」(委託販売)

- ・日 時 平成 23 年 11 月 19 日(土)~20 日(日)
- ・主 催 (財)備後地域地場産業振興センター
- ・場 所 広島県立ふくやま産業交流館

④ 地場産品及びクラフト品の普及 「D.f r o n t」の運営

御旅屋地区「D.f r o n t」においてクラフトマンの手づくり作品を展示し、まちの賑わい創出と若手クラフトマンへの支援、消費者ニーズの把握に努めた。

⑤ 地場産品の普及 外部展示場での地場産品の展示・紹介

高岡商工会議所 2 階ロビーにおいて技術・技法を駆使したブロンズ像等や漆器作品を展示紹介して来館者への伝統的工芸品に対する理解を深め、PR に努めた。

(2) 人材育成事業の実施

県内の伝統的工芸品に対する理解を深め、後継者育成・確保に寄与するとともに、伝統産業を普及、振興することを目的とし、幅広い年代を対象に次の事業を行った。

① 「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に次のとおり支援・協力を行った。

平成 23 年 6 月 2 日を初回に、年間 21 日間にわたって延べ 19 校(36 クラス、1,043 名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学 5 年生 17 校 (32 クラス、922 名)、小学 6 年生 2 校 (2 クラス、48 名)

錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学 1 年生 1 校 (2 クラス、73 名) 青貝の実習

ウ 産業資料館の見学

小学 5 年生 12 校 (23 クラス、710 名)、小学 6 年生 3 校 (5 クラス、121 名)

中学 1 年生 1 校 (2 クラス、42 名)

② 教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1 講座 2 日 (6 時間) の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々 1 講座開催した。

鋳物体験講座受講者数 26 名。漆器体験講座受講者数 37 名。

- ・漆器体験講座 平成 23 年 7 月 25(月)、8 月 1 日(月)
午前 9 時～12 時
- ・鋳物体験講座 平成 23 年 7 月 25 日(月)、8 月 1 日(月)
午後 1 時半～4 時半

③ ものづくり体験教室の実施

鋳物体験教室は、ミニ水盤の製作体験、漆器体験教室では、アクセサリー、ミニパネル、盃の加飾体験を行った。

- ・鋳物体験 9 団体 177 人の参加
- ・漆器体験 7 団体 181 人の参加

④ 伝統工芸人材育成事業（ふるさと雇用再生特別基金）

ア 新商品の開発と発表（ギフト・ショーでの発表）

県内 5 産地の伝統的工芸品の組合員からなる研究会で製作した新商品を展示会等に出展し、消費者ニーズの把握と販路開拓に努めた。

イ「後継者の確保・育成モデル」の策定

富山県の伝統的工芸品産業を活性化し再生するためには、どのような考え方や方策が求められているかを検討・総括し、富山県の伝統的工芸品産地における後継者の確保・育成モデルとして取りまとめた。

(3) 伝統工芸産地再生事業の推進

専任の職員による伝統工芸産業振興の推進に努めた。

(4) 情報収集提供事業

① ホームページ等を利用した情報提供の充実

当財団としての機能や地場産品・伝統的工芸品等の紹介、貸し施設や、鋳物・漆器体験工房の案内等の充実を図るとともに、新たな顧客確保のためネットショッピングサイトを利用した市場開拓に努めた。

② 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として公益法人制度改革及び地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。また、公益法人改革や、公益法人認定についての研修会に参加した。

総会

- ・日 時 平成 23 年 7 月 7 日(木)～8 日(金)
- ・場 所 島根県石央地域地場産業振興センター
(開催センター：(財) 島根県石央地域地場産業振興センター)

(5) 伝統産業団体支援事業

① 高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援した。

ア 文化財修理工事事業

- ・高岡御車山一番街通車輪修繕工事 他 7 件

イ 祭屋台等製作修理技術者会への推薦及び研修会への参加

② 富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する後継者育成事業や工芸士展の開催に対して支援した。

第 15 回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・日 時 平成 23 年 8 月 5 日(金)～7 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階大ホール
- ・主 催 富山県伝統工芸士会

③ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

ア 銅器に親しむつどい

- ・日 時 平成 23 年 7 月 31 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階鋳物工房
- ・内 容 「錫製小判型キーホルダー」の製作

イ 漆器に親しむつどい

- ・日 時 平成 23 年 7 月 30 日(土)～7 月 31 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター
- ・内 容 青貝塗り加飾の体験 小箱づくり

ウ 越中和紙の体験教室

- ・日 時 平成 23 年 9 月 5 日(月)、11 月 11 日(金)、15 日(火)、17 日(木)、
21 日(月)、22 日(火)

平成 24 年 2 月 27 日(月)

- ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

エ 庄川挽物木地の体験教室

- ・日 時 平成 24 年 2 月 15 日(水)
- ・場 所 砺波市立鷹栖小学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

オ 井波彫刻の体験教室

- ・日 時 平成 24 年 2 月 12 日(日)
- ・場 所 木彫りの里 創遊館
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、彫刻の制作体験

④ 伝統工芸高岡漆器協同組合

「第 41 回高岡漆器新作展示会」副賞を供与し、新商品開発への意欲創出を図った。

- ・日 時 平成 23 年 7 月 30 日(土)～31 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 5 階小ホール
- ・主 催 伝統工芸高岡漆器協同組合

⑤ 高岡の伝統的工芸品展

平成 23 年度ものづくりのまち高岡が誇る 伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 23 年 9 月 9 日(金)～15 日(木)
- ・場 所 富山県アンテナショップ いきいき富山館「情報館」
- ・主 催 高岡巧美会（高岡市伝統工芸産業技術保持者）
- ・共 催 高岡市
- ・後 援 伝統工芸高岡銅器振興協同組合、伝統工芸高岡漆器協同組合

⑥ 日本漆器協同組合連合会

「第 46 回全国漆品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 23 年 10 月 14 日(金)～26 日(水)
- ・場 所 全国伝統的工芸品センター 2 階特別展示場
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会、(財)伝統的工芸品産業振興協会、(財)生活用品振興センター

⑦ 工芸都市高岡 2011 クラフトコンペ実行委員会

工芸都市高岡 2011 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 23 年 12 月 30 日(木)～24 年 1 月 15 日(日)
- ・場 所 (株)大和高岡店 6 階催事場
- ・主 催 工芸都市高岡 2011 クラフトコンペ実行委員会

⑧ 高岡伝統産業青年会

第 17 回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 24 年 2 月 8 日(水)～10 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 21 番地 1 号)
(第 73 東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2012)
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

(6) 文化財等修理産業創出支援事業

高岡地域文化財等修理協会を中心とした伝統工芸技術者の育成・確保及び技術の向上・継承に努めた。また、修理工事の受注拡大に向けて、文化財等の修理・メンテナンス産業の市場の開拓に努めた。

① ホームページの更新及びパンフレットの製作

高岡地域文化財等修理協会のホームページ及びパンフレットを拡充し、新たな受注の確保に努めた。

② 出前講座の実施

県外の祭礼行事及び保存状況について確認すると共に、修理協会の PR 活動に努めた。

ア 埼玉県秩父市

- ・日 時 平成 23 年 8 月 29 日(日)～30 日(月)
- ・場 所 秩父まつり会館
- ・参 加 者 秩父祭保存委員会、秩父市教育委員会文化財保護課 4 名
高岡地域文化財等修理協会会員 9 名

イ 岡山県津山市

- ・日 時 平成 23 年 9 月 20 日(火)～21 日(水)
- ・場 所 津山会館 2 階多目的室
- ・参 加 者 津山だんじり保存会、津山市都市建設部、文化課、津山商工会議所
高岡地域文化財等修理協会会員 14 名

③ 総会、研修会への参加

全国山・鉾・屋台保存連合会総会・研修会に参加し、修理技術の知識向上等に努めた。

伊賀上野大会

- ・日 時 平成23年10月15日(土)、16日(日)
- ・場 所 三重県伊賀市
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会会員 12名

④ 修理現場への視察

県外の文化財等の修理保存を研究している現場を視察することで高岡地域文化財等修理協会の意識改革に努めた。

ア 奈良国立博物館文化財保存修理所

- ・日 時 平成23年8月9日(火)
- ・場 所 奈良国立博物館内文化財保存修理所
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会会員 5名

イ 日光東照宮及びとちぎ山車会館

- ・日 時 平成24年2月27日(月)、28日(火)
- ・場 所 日光東照宮、とちぎ山車会館
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会会員 16名

(7) 文化財等修理機能充実事業

実際の文化財修理を通して、高岡地域の伝統的工芸技術の職人技を継承するため、技の記録画像や作業工程・計測等を実施した。

(8) 産・学・官連携事業

高岡の漆工職人、大学で漆工を学ぶ学生及び行政、業界等が連携し、漆木育成実験圃場において漆木の育成をすることによりものづくりへの意識の向上を図った。また、広く当地域の産業・産品の情報発信に努めた。

① 漆木育成

- | | | |
|------|-----------|-----------------|
| ・日 時 | 苗木保護作業 | 平成23年4月15日(金) |
| | 第1回草刈り、肥料 | 平成23年5月29日(日) |
| | 生育調査 | 平成23年6月29日(水) |
| | 第2回草刈り | 平成23年7月24日(日) |
| | 圃場土盛 | 平成23年8月19日(金) |
| | 第3回草刈り | 平成23年9月23日(金・祝) |

第4回雪囲い 平成23年11月13日(日) ※漆の日
・場 所 第1、第2、第3 漆木実験圃場(高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近)

② 情報発信事業

平成26年の北陸新幹線開業を見据え、広く当地域の産業・製品の情報発信を行っていく必要がある。その一環として、JR九州の人気車両であるSONIC883系車両(博多～大分間)において、富山大学芸術文化学部、高岡市と連携し、車両内の展示ブースに高岡地域の伝統的工芸品の紹介展示を行うため、展示方法や実施に伴う打合せなどを実施した。

(9) 産業資料館運営事業

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

(10) 施設管理運営事業

施設の管理

当財団の建物及び機械設備等については年々老朽化が進んでいるが、随時修繕を実施して、当財団機能の保守と施設管理に万全を期した。

- ・ 1階正面自動ドア装置入替工事 4月
- ・ 消防用設備改修工事 3月
- ・ 前側駐車場改修工事 他

(11) 公益法人制度改革への対応

公益財団法人への移行認定に向けて、法人の機関設計並びに定款、諸規定の内容及び事業再編等についての検討を行った。

2. 収益事業

(1) 地場製品の展示紹介・販売促進

消費者ニーズや商品販売動向の把握に努め、季節毎の商品の入替えや新商品を展示するなど販売促進に努めた。また、歳暮・新春・贈答品・年度替わり期の記念品等に対応できるよう、複数の地場商品を組み合わせせたセット商品の企画販売を行った。

平成23年 7月10日(日)～8月29日(月) えこりんフェア
9月 3日(土)～10月17日(月) ふわり野風に月うさぎ
11月 2日(水)～平成24年1月23日(月) 冬のあったかセレクションセット6種
平成24年 2月22日(水)～4月16日(月) Hello!NewLife セット5種

観光バスの立寄り台数は111台で、昨年(168台)より33.9%減少した。来館者数は、82,710人で、昨年(88,180人)より6.2%減少した。販売手数料は9,687千円で、昨年の12,042千円より2,355千円19.6%減少した。

(2) 貸し施設の利用促進

施設使用料は、7,285千円となり、昨年(8,019千円)より9.2%減少した。稼働率(各施設毎に、1日1回以上の利用を1と数え、開館日数(313日)で除した率)は、32.6%と、昨年(34.7%)より2.1%減少した。